

アイヌタイムズ 第54号 日本語版

★ 放射能の話

アイヌタイムズ第53号で福島第一原発事故のお話を書きました。札幌では【編註：2011年】4月1日から5月2日まで雨や降っていた塵を集めたものに福島第一原発からやってきた（放射性）セシウム-137が検出されたと言い

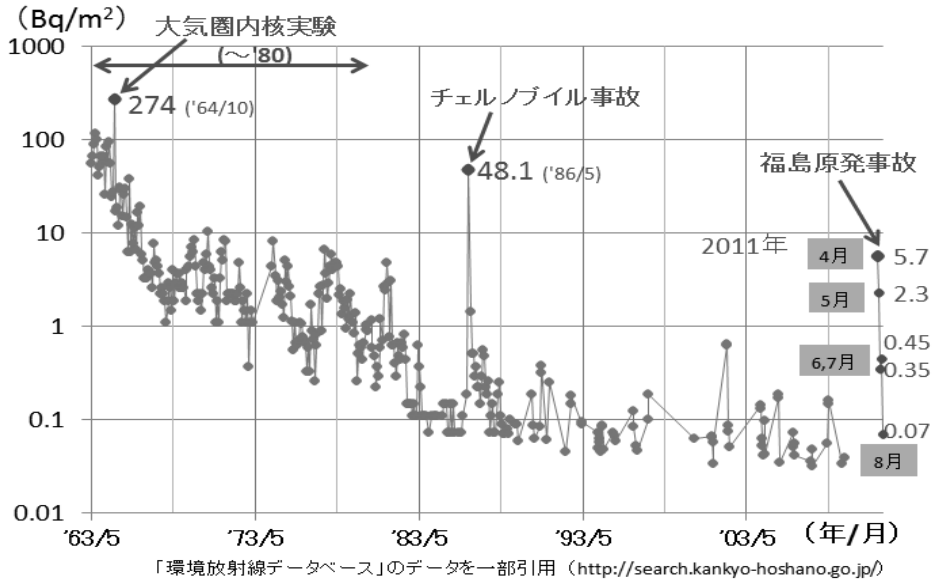
ました。その時、それは5.7Bq/m²ほどあり、この事故で最も大きいものでした。

1960年から1980年まで、大気圏核実験がありました。その時、札幌では274Bq/m²ほ

どあったセシウム-137が降り、これが最も大きいものでした。この放射能(274Bq/m²)は、今回の事故の放射能より大きいもの(48倍)でした。

1986年4月に、チェルノブイリ原発事故が

ありました。その時、札幌では48.1Bq/m²ほどあったセシウム-137が降り、これが最も大きいものでした。この放射能(48.1Bq/m²)は、今回の事故の放射能より大きいもの(8倍)でした。



年間降下物(札幌市)のCs-137放射能濃度の経年変化

そして、札幌では2011年5月からだんだん放射能が小さくなりました。現在(2011年10月から2012年1月まで)とても小さくなって不検出になりました(見つけられなくなりま

した)。北海道では安心してよいと思います。

[横山 裕之] 沙流・千歳

アイヌタイムズ 第54号日本語版(季刊)

発行所 アイヌ語ペンクラブ
〒055-0101 沙流郡平取町二風谷80-25
萱野 志朗 気付
発行責任者 野本 久栄
編集責任者 浜田 隆史
<http://www.geocities.jp/otarunay/taimuzu.html>

◆ アイヌタイムズ日本語版は、基本的には原稿執筆者の日本語原文をそのまま表しています。ただし、原稿検討の際、より適切な言葉に言い換えたり、文の順序を替えていたりすることもあるため、原文のままだと大きな支障がある所に限って、編集で直した部分もあります。[編]